



2025 MFJカップJP250選手権 第2戦 筑波大会

公式通知 No. 2-2

2025年 6月 3日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

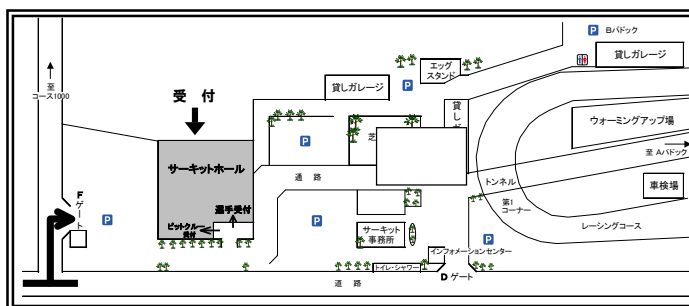
※全日本ロードレース選手権シリーズでは、wowtalkアプリを使用した情報発信を行っております。大会前にアプリのインストール及びお知らせしたID・パスワードにてログインし使用方法をご確認ください。
※大会期間中、入場する全ての車両は、発行された車両通行証を外部から確認できる位置に提示してください。
※駐車場（エントラント駐車場、貸しガレージ等）でのエンジン始動は禁止です。近隣の迷惑となりますので7時20分～17時の時間帯Aパドック内で行って下さい。

1. 選手受付

- (1) 受付場所：筑波サーキットホール / 受付時間：タイムスケジュール参照
- (2) 提示物
 - ①2025MFJ競技ライセンス（提示できない者は理由の如何に関わらず出場できない）
 - ②参加受理書 ③車両仕様書 ④装備申告書（無記入の車両仕様書・装備申告書では受付できない）
 - ⑤MFJメディカルパスポート（記入済みの物） ※健康保険証は、各自必ず所持すること。

※選手受付にて、トランスポンダーの配布も合わせて行っております。（練習走行の受付にて未受け取りの方のみ。）

（サーキットホール）



★連絡車は自転車・キックボード（いずれも電動可）に限る（ミニバイク・スクーターは禁止）。
電動タイプは必ずヘルメットを着用すること。

2. ピットクルー受付

- (1) 今大会は、MFJピットクルーライセンスの確認は行わない。（ピットクルー受付は行いません）
- (2) 参加受理書にピットクルーパスを同封する。ピットクルーとして登録されていない人がパスを使用するなど、不正が発覚した場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。
配布されたパスは、常に見える位置に装着すること。
- (3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付に変更を届け出ること。（変更料は1名に付1,100円）
※当日のピットクルーの追加は、一切受付られない。
- (4) 事前販売したパドックパスではピットレーン、スターティンググリッドへの入場はできない。

3. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、7:20から17:00までとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。

※今大会に限りAパドック内及びJP250村（Bパドック）での暖機運動が認められるが、マシンの移動は全て押し歩きとする。
ただし、6月20日（金）の特別スポーツ走行日は、乗車移動を可能とする。

4. 公式車両検査

- (1) 時間：別紙タイムスケジュール参照
- (2) 場所：Aパドック内車検場 / 車検場裏（音量測定）
- (3) 提示物：①参加車両 ②車両仕様書（受付印済の物） ③装備申告書（受付印済の物） ④ガソリン購入証明書 ⑤装備一式
- (4) 車検場にはアンダーカウルを外した状態で車両を持ち込み、外したアンダーカウルも持参しなければならない。
- (5) 車検時にライダー込みの重量測定を行います。必ず完全装備の上で車検に臨むこと。
- (6) 全車両の音量測定を行います。エンジンが始動できる準備をして車検に臨むこと。
- (7) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし突起物となってはならない。走行中に脱落した場合には罰則（罰金を含む）を科す場合がある。
- (8) 車検時に申告した内容（ヘルメット等の装備を含む）に変更のある場合は、必ずその内容について車検長に申告し、再車検を受けること。

5. 装備検査について

公式車検にて、装備検査を実施する。 ※全ての装備を検査いたします。持ち込み忘れのないようご注意ください。

- ・ヘルメット ・レーシングスーツ ・グローブ ・ブーツ ・ヘルメットリムーバー ・胸部プロテクション (チェストガード)
- ・脊柱プロテクション ・エアバッグ (2歳以下および5歳以上必須)

※ヘルメットは、MF Jがロードレース用として公認したものでなければならない。

※胸部プロテクションはCE規格「EN1621-3 (Level 1または2)」適合品。

※脊柱プロテクションはCE規格「EN1621-2 (Level 1または2)」適合品。

6. トランスポンダーについて

全ての参加者は、主催者が用意するトランスポンダーを車検時迄に装着し走行しなければならない。

取付場所はメインフレームのピボットシャフト付近とする。

配布は特別スポーツ走行受付時に行う。

返却は最終走行終了後1時間以内に行うこと。

また、走行の際は必ずトランスポンダーを取り付けて走行すること。

MY LAPS Japan(株)製 マイポスターの使用が認められる。

使用する場合は、特別スポーツ走行受付時にポスターIDを添えて使用の旨を申告すること。

ただし、競技役員により指示された場合は、主催者の用意するトランスポンダーに付け替えること。

※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体：72,000円/ホルダー：1,000円 (料金はいずれも税込です)



7. MF JカップJP250のタイヤ規制について

(1) タイヤはMF Jが指定したワンメイクタイヤのみ使用することができる。

(2) タイヤは、予選・決勝を通じて使用本数1セット (前後タイヤ各1本) が定められ、タイヤにマーキングされる。マーキングは車検時に行われる。なおマーキングしたタイヤの変更は認められない。ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

8. ポストの運用について

バックストレート中間付近に設置されている5ポスト背面側 (バックストレート側) は、6. 5ポストとして運用する。

旗の運用も、他のポストと同様とする。

9. ピットの使用について

今大会は、ART管理の下、全日本クラスへのピット割りが行われており、使用できるピットボックスは、No.1~9のみとなる。予選、決勝とも、スタート前チェック完了後、ピットレーンへの進入以降は、ピット前作業エリアにて作業を行なうこと。No.1~9 ピットを使用する場合、ピットボックス内への工具等の搬入が認められるが、限られたスペースとなる為、譲り合って使用すること。なお、ピットボックスの占有は禁止とし、走行終了後は速やかに次のクラスが使用できるようにすること。

10. コースイン・コースアウトについて

(1) 予選・決勝レースを通じ、ピットレーンへの移動は、Bゲートからとする。ピットレーンにマシンを入れるタイミングは、オフィシャルの指示に従うこと。

(2) 予選・決勝レースを通じ、コースアウトはAゲートとする。

(3) 予選時間内であれば、トラブルなど特別な理由の場合は、パドックに入った後もコースに復帰できる。

(4) コースイン、コースアウトの際、走路とピットレーンを区分するホワイトラインおよびイエローラインを横切ってはならない。

11. 出走嘆願書の扱い

(1) 予選基準タイムに満たない選手について、過去の実績を考慮した上で、審査委員会の判断で出走を認める場合がある。

(2) 予選に出走していないライダーの出走嘆願書は受け付けられない。

(3) 出走嘆願書の提出期限は、正式予選結果発表後30分以内とする。

(4) 出走の可否は、審査委員会によって審議され、正式グリッド表にて発表する。

12. ライダースブリーフィング

ライダー全員とチーム監督 (監督の出欠は任意) に対し、ライダースブリーフィングを、Aパドック内VIPルームにて行う (タイムスケジュール参照のこと)。時間厳守の上ライダー本人が必ず出席すること。出欠が取られ、欠席は10,000円、遅刻は5,000円の再ブリーフィング手数料が科せられる。やむなく欠席する場合には、チーム責任者が事前に書面にて申請し、競技監督の許可を受けなければならない。

※ブリーフィング時間：6月20日 (金) 11:50受付開始 / 12:00ブリーフィング開始

13. 公式予選

(1) 公式予選は計時予選方式とし、義務周回数は設けない。予選回数は1回とする。

(2) 予選通過基準タイム：トップタイム上位3名の平均108%以内とする。

14. 決勝スタート前チェック

(1) 決勝スタート前チェックは、スタート予定時間の30分前に開始し15分前に終了する。

なお、時間内に届出または、連絡のないライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなす。

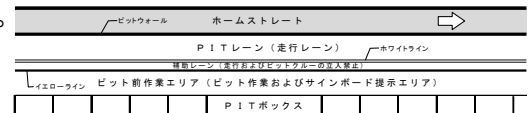
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
 - (3) スタート前チェック時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットを持参すること。
 - (4) 何らかの理由によりタイムスケジュールが遅延した場合でも、スタート前チェックは定められた時間通りに行う。
- なお、新たに大会事務局より時間が設定された場合には、その指示に従うこと。

15. 決勝グリッドについて

- (1) グリッド列ごとの台数配分は3-3-3の階段式で、ポールポジションは最前列進行方向左側とする。
- (2) 決勝グリッド数は、36台とする。
- (3) グリッド上でタイヤウォーマーの為のジェネレーター（蓄電池式含む）が使用できる。そのジェネレーターは、ワンハンドで持ち運び可能なハンディタイプとし、マシン1台に付き1台とする。ジェネレーターは自分のマシンの右側に配置し、他のマシンの移動に支障が無いようにすること。

16. サイティングラップ

- (1) 5、4、3、2、1分前の順にカウントダウンボードが提示している間に、ライダーは、ピット走行レーンを通じた上で、サイティングラップを1周以上行うことができる。その際、ピットボックス前作業エリア（ピット作業及びサインボード提示エリア ※下図参照）では調整作業、ならびに給油を行うことが認められる。また、一旦グリッドについても時間内でピットレーン出口が開いてればオフィシャルの誘導のもと、車両をピット作業エリアに運びだし、再走行することは可能とする。サイティングラップに参加できなかったライダーは、ウォームアップラップ開始5分前までは、オフィシャルの指示に従って自分のマシンをグリッドに押して行くことができる。
- (2) サイティングラップ終了後グリッドに戻ったライダーは、グリッド後方でフラッグマーシャルが赤旗2本を静止提示している場所でエンジンを止め、車両を一旦停止の後、手押しで所定のグリッド位置に付くこと。グリッドへの移動は押し歩くような速度とする。その際、ライダーは降車しても乗車のまま移動しても良い。



17. ウォームアップラップスタート方法

- (1) 1分前エンジン始動。
- (2) フラッグタワーより振動提示されるグリーンフラッグの合図でスタートする。
- (3) ウォームアップラップ開始時、ピットレーン出口のグリーンライト点灯時間は、10秒間とする。

18. ピットレーン先端（ピット前）シグナルランプについて

ピットレーン先端のシグナルライトは、緑（コースイン可）、赤（コースイン不可）となる。

また、公式予選またはレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。

ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと。
(第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること)

19. ジャンプスタート

- (1) ライドスルーペナルティ
①当該ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードをコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。
②当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。
③ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。
- (2) レース終了までにペナルティが消化できないときは、競技結果への30秒加算する場合もある。
- (3) RIDE THROUGHボードは5.5Pでも提示される。

20. ピットレーンの速度制限

- (1) ピットレーン走行中の違反は重大な事故に繋がる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配りスピードを落として常に停止できる状態で走行すること。なお、ピットレーンの制限スピードは40km/h以下とし違反した場合には罰則が科せられる。
- (2) 制限区間は、コンクリートウォール延長線上のガードレール先端からコンクリートウォール末端までとする。
- (3) スピードの測定は、光電管方式の測定器及び移動式のスピードガンとする。
- (4) サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーン上に出るはならない。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

21. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	成立周回数
MFJカップJP250 (Int / Nat)	15 L	11 L	10 L

※WE T時（WE T宣言が提示された場合）は、決勝レースを2周減算する場合がある。その場合、レースのサイティングラップ開始までに公示される。

22. スタート練習について

スタート練習は、チェッカー後にバックストレート右側でのみ行うことができる。スタート位置は「PRACTICE START」看板によって示される。ただし、スタート練習を行う際には、後続車や周囲に十分に注意し、各自の責任において行うこと。

23. ショートカット

予選・決勝を通じて、ショートカット（アジアコーナー5番ポストの脇）の使用は禁止される。使用した場合にはペナルティが科せられる。

24. 走路外走行

走行中、ライダーは常に走路を走行しなければならない、危険回避等のやむを得ない場合を除き、故意に走路を外れること（走路外走行）は認められない。対象となる場所は、最終コーナー立ち上がりアウト（左）側、縁石外側の退避レーン（緑色ペイント部分）とし、違反した場合、当該ラップは無効とする。

26. チェッカーフラッグの提示場所

予選・決勝を通じ、チェッカーフラッグはフラッグタワーにて提示される。また、視認性向上のためフラッグタワー下でも補助的に出される場合がある。

27. サーキット内供給燃料について

- (1) J P 2 5 0 は、筑波サーキット内アポステーションで販売される無鉛ガソリンを使用しなければならない。
- (2) 燃料を購入の際、ガソリン購入証明欄に証明印を受け、車検時に提出すること。
- (3) 供給場所；筑波サーキット内ガソリン給油所
- (4) 営業時間
6月20日（金） 7：00～16：30
21日（土） 7：00～16：30
22日（日） 7：00～16：00
- (5) 提出期限は公式車検終了時とし、やむを得ず提出できない場合は、当該予選開始時までには車検員に提出しなければならない。
- (6) 燃料検査の方法はMF J ロードレース競技規則による。

28. 再車検後の車両引取りについて

車両返却時のトラブル防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、ライダーのMF J ライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。

29. 暫定表彰式および表彰式

- (1) 下記のライダーに対し、暫定表彰式を各レース終了後にコース上で行う。ただし、タイムスケジュールの都合によりパドック等で行う場合がある。また、全競技終了後の表彰式は行わない。
- (2) 暫定表彰式では、ダンロップキャップの着用が義務付けられ、他のキャップと併用して被ることはできない。
- (3) スパークリングウォーターが授与される。
- (4) 車両メーカー賞が授与される。
※インター、ナショナルを区別せず、決勝レース完走者を対象として、各車両メーカー1位の選手に対して送られます。
- (5) 下記のライダーに対し、正賞の楯を正式結果発表後にサービスセンターにて授与する。受け渡しは大会終了時までとし、終了後は、受け取りを拒否したものとみなす。

クラス	暫定表彰式	正 賞
MF J カップ J P 2 5 0 (I n t)	1～3位	1～3位
MF J カップ J P 2 5 0 (N a t)	1～3位	1～3位

30. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷したライダーは最初に施設の医務室で診断を受けること。医務室の診断記録がないと保険が支給されない。
- (2) サーキット第1指定病院： 茨城西南医療センター病院 〒306-0400 茨城県猿島郡境町2190 TEL:0296-87-8111

☆お願い 施設内の安全管理の為、エントリー1台に対して消火器を1本携帯ください。

お知らせ

パドック間のコース横断・往来について

パドック間でコース往来ができるようにいたします。これは、Bパドック及びメインスタンド裏（P4・P5）の利便性を高めるために行います。下記の部分を横断できるよう各走行のインターバル時に開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従ってください。

1. Bパドック（1ヘアピン側ゲート）⇔ Aパドック（ドライバーズサロン脇ゲート）
2. メインスタンド側駐車場（P4・P5）⇔ Aパドック（ガソリンスタンド脇）

※朝の時間帯のコース横断可能時間は、金曜日 5：30～7：30、土曜日 5：30～7：30迄といたします。以降は各走行インターバルでの開放となりますが、状況により、オープンできない場合もございますのでご了承ください。

本 通 知 に 記 載 さ れ て い な い 事 項 は 、 2 0 2 5 M F J 国 内 競 技 規 則 に 準 ず る 。



2025MF JカップJP250選手権 筑波大会
大会事務局長 白土 智一